

## 【お知らせ】開館スケジュールの更新の一時停止について

当館のご見学には事前のご予約をお願いしていますが、現在、予約なしでの見学の受け入れ(常時開館)の実施について検討を進めています。

通常はその当日より3か月先までの開館情報をカレンダーで表示していましたが、開館日の調整のため、8月以降の開館スケジュールの公開を停止しています。

8月以降の開館日については、詳細が決まり次第Facebookおよび博物館のwebサイトにてご案内いたしますので、8月以降の見学をご希望の方は、続報をお待ちください。

なお、グッズ販売の方法も変更を予定していますので、そちらについても詳細が決まりましたら改めてお知らせさせていただきます。

#日本獣医生命科学大学 #博物館

## 【予告】ミニ展示「長次郎の再出発」を開催します

6月21日の世界キリンの日(World Giraffe Day)にあわせ、キリン「長次郎」に関するミニ展示を開始いたします。

「長次郎」は、上野動物園で生まれ、井の頭自然文化園に引っ越したのち、本学で骨格標本となったキリンです。当館では、令和5年11月から令和6年6月にかけて長次郎を紹介する企画展「キリンが来た道～麒麟児 長次郎の歩み～」を、令和6年4月には企画展開催記念イベントとして「キリン講話会」を開催しており、令和7年度内にはキリン講話会の内容をベースとした書籍が出版される予定となっています。

書籍の出版を記念して開催する本ミニ展示では、長次郎の歩みを振り返るとともに、最新のトピックスを紹介いたします。

[展示タイトル]「長次郎の再出発」

(日本獣医生命科学大学附属博物館 監修)

『キリンが来た道～麒麟児 長次郎の歩み～』出版記念ミニ展示)

[会期]令和7年6月21日(土)～令和7年11月29日(土)(予定)

[会場]日本獣医生命科学大学附属博物館1階 定期交換展示室

[開館情報]

- ・開館日時 火曜日～土曜日 10:30～17:00(最終入館および物販は16:30まで)
- ・休館日 日曜日・月曜日・祝日、年末年始、大学の定める休日(その他臨時休館あり)
- ・入館料 無料
- ・入館方法 事前予約制

※事前の告知なく開館日時や休館日、入館方法等が変更となる場合があります

※ご来館前に必ず「来館案内」をご確認いただき、ご来館の際は来館案内ページ内にある「個別見学予約フォーム」または「団体見学予約フォーム」から事前にご予約をくださいようお願いいたします

※見学受け入れ方法の変更にともない、8月以降の開館スケジュールの公開を一時的に停止しています

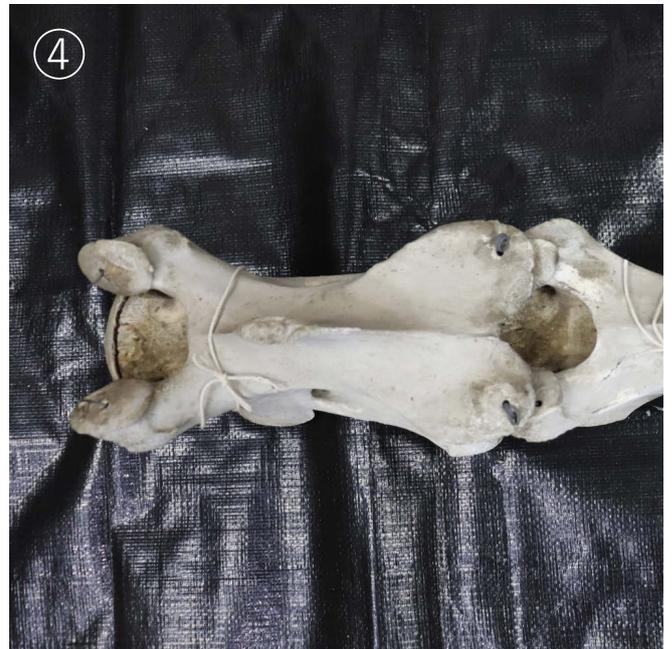
#キリン #日本獣医生命科学大学 #博物館

2025年6月7日の記事

■【お知らせ】ミニ展示「長次郎の再出発」開催

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250602-02.html/>

展示の詳細はこちら



① 長次郎の骨格標本：現在は解体され、バラバラの状態です保管されています

(解体の様子はこちら <https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250123-01.html>)

② 展示準備の様子：ミニ展示では長次郎の頭と首の骨を展示する予定です。展示に向け、長次郎の骨の清掃作業を行いました

③ 清掃前の骨

④ 清掃後の骨

## 【活動日誌249】奄美展の撤収と写真撮影

本学の獣医学部獣医保健看護学科病態病理学研究分野との共催で開催した当館初の特別展、「NVLU奄美プロジェクト -研究・保全・そして未来-」が5月末をもって会期終了となりました。約7か月間の展示期間の間、3回のオープンキャンパスや日獣サイエンスセミナーにあわせた特別開館なども含めて、多くの方にご覧いただき、アンケートでもご好評をいただきました。

7月からの新しいミニ展示の開始に向けての準備のため、6月から自然系展示室を全面閉鎖して、現在奄美展の展示物の撤収作業を進めています。展示を撤収してしまう前に、本学で情報学とネットワーク入門講座の講師をされている山内昭先生に、展示の様子や展示していた剥製や標本等を個別に撮影していただき、展示の記録を写真で残すことになりました。撮影当日は撮影と並行して、撮影が終わった剥製や標本の撤収作業も進めました。

特別展の撤収に伴う自然系展示室の全面閉鎖は土曜日15日までの予定です。17日火曜日からは常設展エリアをご覧いただけるようになります。見学をご希望の皆様にはご迷惑をおかけしますがもうしばらくお待ちください。

(学芸員 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #奄美

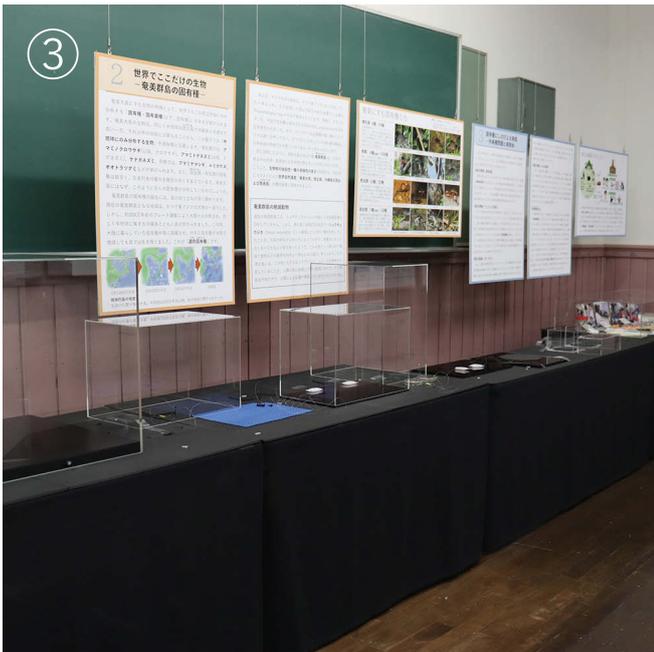
### ■【開館情報】展示室の一時閉鎖について

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250409-02.html/>

展示準備のため、7月8日から再び自然系展示室を全面閉鎖いたします。

閉鎖の日程の詳細はこちらのページをご確認ください。

## 2025年6月12日の記事



- ① 撮影のために剥製を入れていたケースを移動させる様子。
- ② 剥製たちは1つずつ撮影をしていただきました。こちらはリュウキュウコノハズクの撮影の様子です。
- ③ 剥製や標本がいなくなった展示台とケース。配置には微調整を含めてかなりの時間がかかりましたが、撤収はあっという間に進みます。

## 【活動日誌250】キリン「長次郎」に関連したミニ展示の準備を進めています

6月21日の世界キリンの日(World Giraffe Day)にあわせ、キリン「長次郎」に関するミニ展示を開始いたします。

6月7日の記事では骨格標本の清掃の様子をご紹介しましたが、現在は定期交換展示室を閉鎖して陳列作業を進めています。本ミニ展示では、長次郎の来歴と最新情報を5枚のパネルにまとめて紹介するとともに、これまでに収集した長次郎に関する資料を複数展示する予定となっておりますが、本日までにパネルの設置作業と、資料の仮配置が完了いたしました。

展示の準備も一段落し、6月17日からは定期交換展示室の一部の公開を再開いたします(キリン「長次郎」に関わる箇所は引き続き閉鎖中です)。細かな展示準備は会期の直前まで続くため、展示室ご見学の際にスタッフの出入りや作業に伴う騒音が生じる場合がありますが、あらかじめご了承くださいと幸いです。

(学芸員 石井)

#キリン #日本獣医生命科学大学 #博物館

### ■【お知らせ】ミニ展示「長次郎の再出発」開催

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250602-02.html/>

ミニ展示の詳細情報はこちらをご参照ください

### ■【予告】ミニ展示「長次郎の再出発」を開催します

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0TwHBKW1EkyTPoqKWwm8U6Y962i8dchWXLdZmfuSpW1twx3TRiSGXjGjatncQLJPRI>

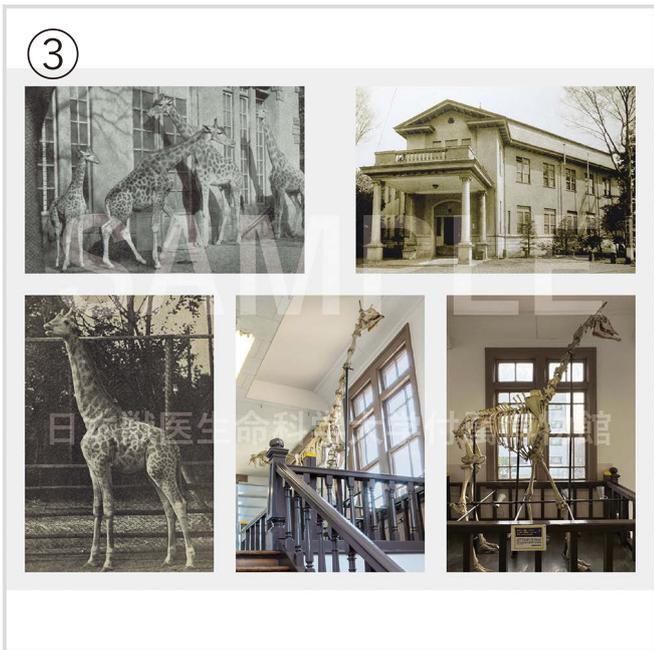
6月7日の記事はこちらをご参照ください

### ■【開館情報】展示室の一時閉鎖について

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250409-02.html/>

展示室の閉鎖に関する詳細情報はこちらをご参照ください

2025年6月14日の記事



- ① パネルを吊り下げるピクチャーレールのセッティングの様子。
- ② 吊り下げたパネルとその他の展示物。企画展「キリンが来た道～麒麟児 長次郎の歩み～」で展示した一部の資料を再展示するとともに、2025年1月のキリンの解体の様子などをご紹介します。
- ③ これまでに収集した長次郎に関連した絵葉書も展示します。  
(画像は当館にて販売中の絵葉書(1枚100円))

## 【活動日誌251】剥製の燻蒸処理

当館では、資料害虫による被害を抑えるために剥製の虫害のチェックを定期的に行っています。今年は昨年度のチェックで虫害の疑いやカビの発生の疑いのある標本や、最近博物館に寄贈された標本について、燻蒸処理を外部委託で行うことになりました。

燻蒸で使用する薬剤には、剥製の遺伝情報に悪影響を及ぼさない、ヴァイケーン(フッ化スルフリル)を採用し、今回も前回同様、燻蒸を行う倉庫への移動のための梱包作業と倉庫での処理、剥製の搬入を含めた作業を、尼ヶ崎剥製標本社様にご協力いただくことになりました。

剥製たちの搬出日はあいにくの雨で、通常なら安全に運搬できるよう固定するだけですむところ、今回は雨避けのための梱包も必要となり、一つ一つの剥製を薄いビニールで包まれた状態で運ばれていき、先日無事に戻ってきました。

昨年度からしばらく保管室に入っていたツキノワグマ成獣や中型哺乳類のハクビシンをはじめとして、処理が終わった剥製たちの一部が自然系展示室でご覧いただけるようになりました。またこの機にぜひ博物館までお越しください。

(学芸員 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #燻蒸



- ① 雨除けのビニールで包まれたツキノワグマ
- ② トラックの中に剥製を入れて、トラック内で固定する様子
- ③ 自然系展示室に戻ってきたツキノワグマ

## 【活動日誌252】ミニ展示「長次郎の再出発」が始まりました

本日6月21日は世界キリンの日 (World Giraffe Day) です。一年間で最も昼が長くなる夏至の日を、最も首が長い動物のキリンにかけて、キリン保全財団 (Giraffe Conservation Foundation) が制定しました。世界中の数多くの動物園やキリンの保護団体などがこの記念日イベントに賛同しており、日本でも世界キリンの日に合わせて多くの動物園で様々なイベントが開催されています。

当館でも、本日からキリン「長次郎」を主役としたミニ展示を開始いたします。「長次郎」は上野動物園で生まれ、井の頭自然文化園に引っ越したのち、本学で骨格標本となったキリンです。当館ではこれまでに長次郎に関連した企画展やイベントを開催しており、今年度中に今までの成果をまとめた書籍が出版される予定となっています。書籍の出版を記念した本ミニ展示では、長次郎の歩みを振り返るとともに、最新のトピックスを紹介いたします。

ミニ展示ではありますが、長次郎に関連した冊子や絵葉書と共に、長次郎の頭蓋骨と頸骨を展示しています。本日から11月末まで公開する予定となっていますので、興味のある方はぜひ長次郎に会いに来てください。

(学芸員 石井)

#WorldGiraffeDay #キリン #日本獣医生命科学大学 #博物館

### ■【お知らせ】ミニ展示「長次郎の再出発」開催

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20250602-02.html/>

ミニ展示の詳細情報はこちらをご参照ください

### ■World Giraffe Day

<https://give.giraffeconservation.org/appeal/wgd25/>

Giraffe Conservation Foundationの世界キリンの日の紹介ページです(英語)

## 2025年6月21日の記事



- ① 展示室の様子
- ② 長次郎やその家族が紹介されている冊子を展示しています
- ③ 長次郎の頭蓋骨と頸骨を間近で見ることができます

## 【活動日誌253】馬の解剖模型の確認作業を進めています

5月10日の記事にてご紹介した通り、当館では本学の付属牧場にて保管されていた馬の解剖模型を資料として収集しています。こちらの模型の全身には番号が書かれたシールが貼られており、模型に付随したリストと照らし合わせることで各部位の名称がわかるようになっていたようです。しかし、当館に運び込まれた時点で番号と対になるリストは失われていたため、本学獣医学科の研修生に協力をしてもらいながら、どのパーツに何番のシールが貼られ、そのパーツの名称が何なのか、確認する作業を進めています。

これまでの作業で、模型の全身には少なくとも600番を超える番号が振られていることが明らかとなりました。ただし、1から600までの全てのシールが貼られているのではなく、例えば1番から100番台までは骨格、200番から300番台は筋肉、といった形で大まかに分けられているようです。長期間にわたり牧場の倉庫で保管されていたことにより模型全体が汚れてしまっているため、模型のクリーニング作業も同時並行で進めています。

まだ全貌は明らかになっていませんが、情報の整理とクリーニングが完了した暁に、当館の展示物として活用したいと考えています。

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館

### ■【活動日誌243】馬の解剖模型が移管されました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0Aq6CsoD8JGF5jpPgKFWGwz4NyKb76qZ9ge1uqoBCC6hDWYuvSm13WEGbxvA4Xepjl>

模型を受け取った際の様子はこちらの記事で紹介しています



- ① 教科書を参考に各パーツの名前を確認する様子
- ② 確認できたパーツの名前をリストにまとめていきます
- ③ パーツを確認しながら、模型全体の拭き掃除を行いました

## 【活動日誌254】寄贈資料の情報整理

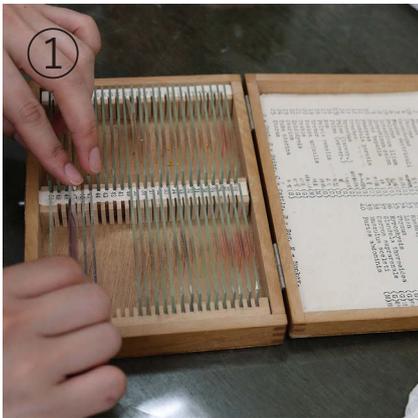
本学の卒業生の方から、研究室から譲り受けた古い顕微鏡、学生時代に使用していた組織標本セット、教科書の3点をご寄贈いただきました。事前に寄贈品についての聞き取りを行った上で各資料をご寄贈いただいたのですが、改めて寄贈された資料を確認したところ、組織標本セットのケースの中に、ヤギやブタの臓器から作成したスライド標本とその一覧とともに、一覧に掲載されていないスライド標本が6枚が収められていることが判明しました。寄贈者の方に情報提供をお願いしたところ、博物館まで標本の確認に来てくださることになりました。

スライド標本のラベルに書かれた情報をご確認いただき、実際に検鏡していただいた結果から、正体不明のスライドは学生時代の実習や卒業後に働く中で作成されたものであることが判明しました。

来歴がわからなくなってしまう資料をご寄贈いただくこともあります。資料に付随する情報が多いほど活用の幅が広がります。今回ご寄贈いただいた資料も、展示や教育普及活動にて活用したいと考えています。

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館



- ① 寄贈された標本セット：箱の蓋に標本の一覧が貼られています
- ② スライドに書かれた情報を確認する様子
- ③ 顕微鏡を使用し何のスライドなのかを確認しました